

「ボトムスに関する調査」の結果概要

日本衣料管理協会 調査部会委員 藤田 雅夫
(共立女子大学 全学教育推進機構 教授)



1. 調査概要

当協会は、会員大学の協力のもとにTA（Textiles Advisor：衣料管理士）の養成課程の学生を対象に、「衣料の使用実態調査」（取得・所持・使用の実態）を毎年実施している。同時に話題性の高いテーマを選びトピックス調査を実施しており、2023年度は、女子学生及びその母親に対し、「ボトムスに関する調査」を行った。

・調査実施概要

調査対象	全国衣料管理士養成課程の女子学生及びその母親	
	女子学生	596名（平均年齢20.5歳）
	母親	411名（平均年齢51.4歳）
調査期間	23年12月末から24年1月初旬	
調査方法	配表調査法及び託送調査法	

女性のボトムスは、パンツとスカートの2種に大別される。女子学生や母親世代は、どちらをより多く着用しているのか？ また着用する理由は？着用シーンでの使い分けは？ そんな疑問に対する調査結果を一部ではあるが、ご紹介したい。

2. 調査結果概要

①ボトムスの着用実態 普段よく着用するはどっち？

1週間にパンツをはく日数を聞いた結果が図1である。この結果をもとに1週間に5日以上パンツをはく人をパンツ派、3～4日を中間派、2日以下をスカート派と分類した。学生は、パンツ派55%、中間派27%、スカート派17%とパンツ派が優勢。なお母親に関しては、パンツ派が80%と圧倒的だった。

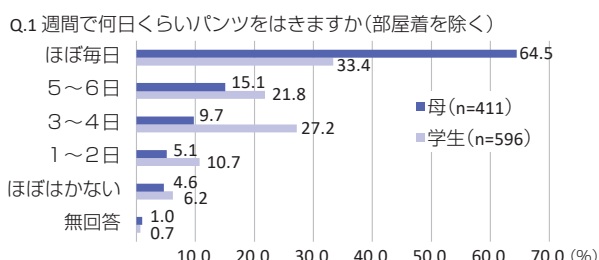


図1 1週間当たり着用日数

②ボトムスの着用理由（複数回答）

機能vsファッション？

着用理由をパンツ派の学生に絞って、図2に掲載した。パンツは動きやすく気軽、スカートはかわいい、というのが一番の理由のようだ。ただし、好き、自分に似合うというのも重要なポイントである。一方、スカート派学生のスカート着

用理由は、好きが90%、かわいいが75%と高スコアだった。

パンツの機能性、スカートのファッション性といった長所を認めながら、より自分の嗜好性にあったものを多用しているといった傾向がみられる。

Q. あなたがパンツ(スカート)を着用する理由は何ですか(複数回答)【n=329】

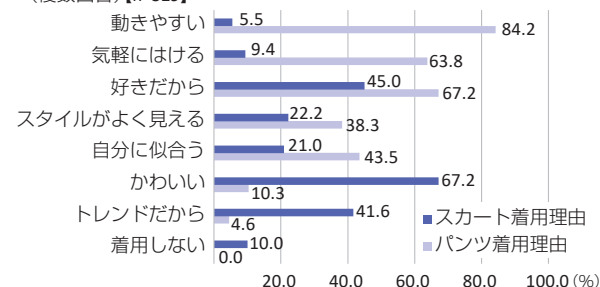


図2 学生 パンツ派の着用理由比較

③ボトムスの着用シーン（複数回答）

着ていく場所で違いは？

図3はパンツ派の着用シーン。もちろん、パンツ着用の場面が多いが、デートやパーティーではパンツ派といえども、スカートが上回る。一方、スカート派学生は、ほとんどの場面でスカートが上回ったが、自宅とアウトドアではパンツが優勢だった。前述の理由と併せ、TPOに合わせた使い分けが伺える。

Q. パンツ(スカート)をどのような場所や状況で着用することが多いですか(複数回答)【n=329】

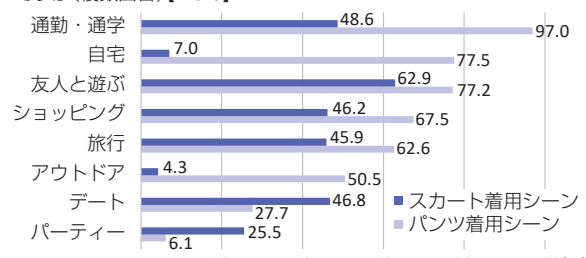


図3 学生 パンツ派の着用シーン比較

3. 調査所感

母親のパンツ派比率の高さが予想以上であり、やや驚いた。また、紙面の制約上、掲載できなかったが、ファッション意識に関わる質問で、学生・母、パンツ派・スカート派に関わらず、「服を購入する際シルエットを意識する」という人が、90%以上という回答も興味深かった。調査の詳細については、協会のHPIに掲載予定なので、ご興味のある方は、ぜひそちらも閲覧いただきたい。